まき
発行所
西蒲原郡
巻町公民館
編集人
保刈郡司
印刷所
北洋印刷株式会社
（西蒲.巻町.電話204番）

御挨拶

元巻町警察署長　小林周策

國民待望の講和會議の開かれた九月五日奇しくも目を同うして行われた巻町警察維持に関する住民投票の結果多數町民の御意志により巻町警察署は廃止に決定、九月三十日を期しその幕を閉づるに至りましたので一言御挨拶を述べさせていただきます。

巻町警察署が町民の皆様から多大の期待と関心を持たれて発足したのが昭和二十三年三月で爾來今日三年有余今静かに過去を顧みまするに諸々の感概を覚えるのであります。

当時は敗戰の痛手未だ癒えず、思想に、道義に、日常生活の面に混沌としてその停止さい危ぶまれ、これ等を原因として各種の事故悪質事犯等相次いで起り、あの楽しかるべき一年一度の大祭に外の不良が入り込むとてお祭に附随する一切の行事さえ取り止めにするとか、女子供達は夜間のお使にも出せない等と言つた程険悪な世相であつた。創立早々の私共も一層その職責を痛感し、先づ警察責任の遂行は民衆の理解と協力を待つ外途なしと考え、座談會に懇談會に常に皆様と膝を交え皆様の聲を聽き、それを仕事の面に取り入れると同時に又私共の要望も披歴し、御理解を深めて戴いて來たのでありますが、よくそれが容れられ、犯罪検挙の成績も年々上昇し、常に郡内自警の上を占めるを得つつあつたことは決してこれは私の力ではなく何と言つても、平素町民の皆様が町の警察と言う親しさを以つて積極的の御協力を寄せられた賜に外ならず心から厚く御礼申し上げます。

今日迄の間に於ける警察の態度をはじめあらゆる対策施策、諸施行の上に於て爲さねばならぬ点、改めねばならぬ數々の事共は実現の域に至らず私自身省みて全く顔のほてりを覚えるものでありますが何しろ劃期的新制度の下に誕生早々の事とて心にかけ乍らも遂に一つとして御期待に副え得ず今日を迎えたことは私の心残りの一つであります。又時には一部の方々から『町の警察だもの少し位のことは』と言う聲も聞いたのでありますが、これとても警察の職司が所謂社會悪を糾弾し、法の執行者たる限り、如何に警察の民主化とか、町の警察と雖もその職責の立前から決して左右するを許されるものでなく、正しく強い警察こそ民衆の期待する警察なりと信じた結果であつて、それ以外何等の他意のなかつたことを御理解願います。

自治体警察が無くなつても、組織力と装備の充実した國警地区署の所在地である巻町は今後治安の面にはいささかの懸念なく十分に皆様の御期待に副え得る事を確信致します。

又未決の犯罪事件は勿論、古物商その他の當業、各種の免許許可、遺出拾得物の權利道路使用の許可等々は一切其の儘引繼いで戴きましたから改めて手続きの要はないことを申添えて置きます。

三年半に亘り寄せて戴いた御厚志に重ねて又今回は數々の御高配を辱し深く々々御礼を申し述べ御挨拶を終ります。

◇町議會だより

九月三日

厚生水道委員會

一、委員七名並びに係吏員は燕町、加茂町小須戸町、新津市、亀田町の厚生及水道施設を視察した。

九月四日

土木委員會

一、税務署敷地の盛土増嵩の要請について地覆の土を盛り上げ地形内は中學校の敷地と仝じ高さとすることとす。

二、宮小路の道路擴張請願陳情について、代表者より説明を聞き、總工費を概算して考究することとす

三、火葬場の道より大排水に向う道路の橋工事に町費より金二万円を補助することにした。

九月十三日

財務委員會

一、巻高校増築の寄附金は学校の希望に沿う様にいたしたい。

二、町税完納强調週間に関して理事者より具体的方法に就て説明あり協力を請うた

三、自治体警察廃止により謝意の方法、廃廳式について打合せをなした。

四、固定資産評価審査委員會にて固定資産の評価概要に関する内容説明會を開いた。

九月二十二日

四、小須戸町犬火に見舞金を贈呈すること

五、町警察廃止に伴い廃廳式次第、謝意の方法について再検討す。

六、小林団長より公務傷害保証條例設定方法について詳細説明をなした。

兼ねて懸案の共同便所も愼神社境内（消防ポンプ置場裏）にこの程完成され、町をゆく人たちに利用されております。

完成された共同便所

この共同便所は町内外を問わず多くの人々たちに利用されるのですが、切角の施設も利用される方々の一寸した注意如何により汚くも、奇麗にもなりましょう。常に使用の際は充分に気をつけ町の美觀を傷けないようにいたしたいものです。

九月二十五日

警察消防委員會

一、警鐘楼建替について、見積書内容について報告があつた。

財務委員會

一、繊維組合建物買收の件に関して、土地、建物、備品について、先方の價格内意を聞き議員協議會に諸る事にした。

二、消防團員の服装整備について

①ハッピを改装して火防服二十六着整備

②筒先に鉄兜を使用させたい

③望楼勤務者に防寒服を備えること

三、小林消防団長より青森、山形縣方面の消防視察狀況報告あり

菱の實

▽近頃闇米の方が配給米より安く手に入り從つて配給所に米が『だぶつき』一般消費者への新米の配給がおくれる等は面白い現象だ▽米が足らなくて外米の配給される所から見れば まことに喜ばしい事だが結局農家の不景気が町の不景気になるわけだが何処かこの面の政策に大きな穴がある様だ

× ×

▽町民が税金税金に苦しんでいるのにそれに輪をかけた様に税当局も税金税金と苦しんでいる▽今回発表された町税の未納高が内輪に見積つても八百五十万円とは驚ろく▽これまで大きくなる前に適当な打開策がなかつたものだろうか▽納税の義務は萬々承知でも納める意慾のなくなつてしまつたことは恐しいことだ▽ここにも町政に何処か穴がある様だ▽家政をあづかる女房に大穴をあけられた旦那様のようだか両者信愛を失わず協力してこの穴だけは埋めて平にあぶなくない道を歩かせていただきたいものだ

青年團長の選出について

はがき回答

青年團長は
一、團員より
二、團員外より
三、どちらでもよい
四、年令について
五、團長選出についての希望

松村宏一 一區
青年團長は
三、どちらでもよい
人物本位 理想は團員より
年令について
廿六才～卅五才位
希望
一、選衡委員を各區より男女一名をあげ推薦人物を五名位あげて團員の連記制又は單記制投票により選出する（自薦を含んでもよい）

大島政市 八區
青年團長は
一、團員より選ぶべきだ
年令について
廿五才～卅五才位
希望
心身とも健全にして実行力のある人の見当るまで委員會諸制は如何

八木金治 五區
青年團長は
一、團員より選ぶべきだ
年令について
廿四才～廿五才位
希望
投票による

五十嵐六一 一區
青年團長は
二、團員外より選ぶ
年令は
卅五才～五十才位

鎌木松司 七區
青年團長の選出は團員中でも團員外でもいづれでも良いと思います

秋の文化まつり

近づく

十一月三日の文化の日を中心にして卷町では華麗なるスポーツ、文化の祭典が繰りひろげられる。五日より十日迄商店街では商工祭が開催される予定

藝能の部

春の藝能まつりに參加した各部門が更に磨上げた技を競いケンランたる舞台が展開されるものと期待される。

琵琶は縣下の名手が集り名人大會を開くが濤水氏の活躍が聞きもの。

要するに抱擁力を持つて團体組織を確立し得る能力を持ち、常に新鮮な時代感覚で青年團運動の目的を把握し、それを直ちに実際面に移して行ける人物であればよいと思います。

箏曲は久我社中が玉川、夕顔、八段、嵯峨の秋等、新曲、古曲をそろえて秋の一夜をタンノウさせてくれる。

今年から初の參加をする義太夫はこれも県下のアマが喉を競う。老人その他斯道の愛好者に期待されよう。

演劇は、会員の人手不足に悩まされて不參加を傳えられたが幸に演劇愛好の人たちの應援を得て三好十郎の『獅子』榎本虎彦の『名工柿右工門』を上演の予定。

共に大物をひつさげてベテランと新人の嘲合いが見もの。

十一月六日七日卷小學校の兒童展覽會場の一部を借用して卷町公民館の秋の文化まつりを開催する。

本年初めての試みとして參加する菊花は斯道の天狗連が腕によりをかけての出品だけに期待される。

挿華、洋画展『パレットクラブ』日本画展『ツボミ会』と書道展が例年の通り開催される。

尚古美術展も開催の豫定

◇スポーツの部

十月二十一日
於卷中學校
縣下選抜軟式野球大會參加チーム
新潟刑務所チーム
新潟硫酸會社チーム
新潟鉄道病院チーム
新潟全縣廳チーム
新潟交通チーム
三條機械チーム
内野日東紡績チーム
卷クラブ

十一月三日
於卷中學校
第十三回
卷町民運動會
（雨天の場合は四日—五日）

十一月十一日
於卷中学校
郡籠球選手權大會
於卷小学校
郡少年卓球選手權大會
於卷高校
郡庭球選手權大會
於卷高校
郡排球選手權大會

母の悲願

卷小PTA教養文化委員 山岸睦子

過日小学校に於てPTA教養文化部の企畫によつて行われた草間先生の教育講演會は近来にない感銘の深いものであつた。

先生は平易な言葉で具体的な実例をあげつつ教育は学校たると家庭たると問わず兒童心理を良く理解して年令に應じた正しい指導の上に立つてこそ始めて実績があがるものであること、しかも教育の根本を貫ぬくものはただ『愛』の一語に盡きると共に宗教教育の重要性についても言及され私共も今更の様にきびしく自己反省をすると共に知性にみがかれた愛情によつてのみ子供は正しく素直に育つものである事を痛感させられた次第であつた。

自分は子供を愛していると信じつつも生き難き現実の重壓の下に兎角感情的にのみ行動しがちな私共に『先づ子供を知れ』と先生は言われたのである。天来の聲であつた。

今この文を綴りつつもあの時の感動がひたひたと私の胸に蘇つて来る。そして『我が後に来たる者は我に勝れり……我はその鞋の紐を解くにも足らず』という聖書の句がふと思い浮ぶ。

之は予言者ヨハネが救世主の出現を予言して人々に證した時の言葉であるが、名工が一塊の木片をノミ一本で名作に彫り上げる如く、私達は天から賜つた子供と言う汚れなき生命の塊りをノミの代りに至誠至純の熱き愛を注いで偉大な傑作に創り上げたい……

これは全世界の凡べての母が抱く悲しきまでに切ない願いではなかろうか。

赤い羽根

共同募金始まる

今年も赤い羽根のまごころが全國にあふれる護救済のために……福祉施設のために……社會福祉のために活動する社會福祉協議など各団体維持のために……大きな働らきをつづけています。

共同募金を通じて、この世の中を明るく美しくするため不幸な人たちを一人でもなくすに故障のある人たち……働らくにも仕事を得られない失業者、その他この世の中にあらゆる不幸な人たちへの保

昭和二十六年度共同募金目標額 一二〇、〇〇〇円
お年玉ハガキ寄附金繰込金 三三、六三八円四〇銭
A差引実募金額 九六、七六二円六〇銭
昭和二十六年度日赤募金目標額 三三、三〇〇円
B差引募金残額 三三、三〇〇円
AB合計額 一二〇、〇〇〇円六〇銭

註ABの合計額が今回の実募金合計額であります。

るように公正に配分され有効に働らいています。

終戦後の私共の生活は長い間の無理がたたつて、実に惨めな悲しいどん底に追い込まれた。避け難い災難の爲主人を亡くし、心身を傷け、資産を失くした方々を偲ぶ時、お互が眞心を以つて助け合すにはおられない感動を覚える。

お互の生活が苦しければ苦しいだけそうした方々の苦しみは更に深刻なものがありましよう。互に助け合う暖かい心からの眞心によつて私共の社会を明るい住み良いものにしたいものです。

この様な意味合から期間内目標の突破に御協力下さい。

公民館

九月九日 高校
◇婦人講座
料理の作り方講習
九月九日 高校 宮島先生
◇囲碁大會
九月十五日 農協 囲碁クラブ
◇農業講座
農事座談會
九月十八日 小学校 田代先生
普及員
◇成人講座
P・T・Aについて
九月十八日 小学校 草間道之助氏
◇海魚釣大會
九月二十三日 中学校 間瀬海岸
◇町内職域対抗
九月二十八日 小学校 野球大會
◇定期講座
三ヶ月の予定で開講した簿記、珠算、英会話講座も去る二十八日閉講された。
閉講当初は簿記、三十名、珠算小中学生六十名、高校生以上一般十六名、英会話十四名の方々の出席により出發したが、お祭、お盆、サンマータイムの切変其の他の原因で閉講時には開設當時の半數の狀態でありました。
來月より新しい計画をもつて再開されますが先号のはがき回答を參考にして内容を研究致しております。御協力をお願いいたします。
十月六日夜 小学校
◇映画の夕
新潟樹祭審査制度事務局
九月十八日 間瀬海岸
◇海魚釣大會
九月二十三日 中学校
◇町内職域対抗
九月三十日 中学校
◇定期講座開講式
九月三十日 中学校
◇縣下選抜野球大会
九月三十日 中学校
◇町内職域対抗
十月 旬 籠球大会
◇予定事業
九月十八日 間瀬海岸
◇海魚釣大會
九月二十三日 中学校
◇町内職域対抗
十月 旬 野球大會
◇定期講座開講式
十月 旬 中学校
◇縣下選抜野球大会
十月 旬 中学校
◇町内職域対抗
十月 旬 籠球大会
◇成人講座
縣立綜合病院につづいて
中 旬 間瀬海岸
◇海魚釣大会
十月十四日 中学校
（雨天の場合は廿八日）
◇郡陸上選手權大会
二部対抗競技
◇郡少年陸上選手權大会
十月二十一日 中学校
◇町内対抗籠球大会
◇縣下選抜軟式 野球大会
新潟刑務所チーム
〃 硫酸会社 〃
〃 鉄道病院 〃
〃 全縣廳 〃
〃 交通 〃
〃 内野日東紡 〃
〃 三條機械 〃
〃 クラブ 〃
十月二十一日 小学校
◇郡選抜卓球大会
下 旬 公民館
◇婦人のための主婦と教養について
下 旬 公民館
◇討論会
青年団について

『團体からの』お便り

婦人會だより

九月九日女子高校で宮島先生指導の下に料理講習を行う。參加者五十四名季節の野菜を主とした洋風の惣菜物だつたが樂しく有益に半日を過した。

当日も感じたことだつたが、最近各種の講習に出席の年齢層が目立つて若くなつたことは嬉しかつた。これは皆様に集会の有益さを認めて戴けたことと思われるが、決して幹事達だけの会合ではないので、今後も共々手を取り合つてゆきたいものと期待しています。

十四日は会員優待の映寫会を催す。特に社会教育課の後援でよいフィルムを選んだはづだつたが切れること再三で残念だつた。小学校の運動場を埋める程の觀衆もあれでは優待映寫会が意味をなさなくなると思うが、この点何とか致したいものだ。

卅日午後公民館で、主婦の教養講座第一回を新潟市から林惠美子講師を迎えて開く。

知性ある賢母について二時間実例をあげての御説明に參会者は少なかつたが得るところがあつた。

知性とは理屈をのべたてるのでもないし、学問でもない。それは洗練された感情をいうのであり、洗練されるということが自体こうした講座に出席して何かしらつかむところにあると思うが、御家庭の皆様達、生活のグチや泣言に花を咲かせず、暇をさいて十月の第二回目の教養講座に御出席下さい。

十月の予定行事には

一、第二回主婦の教養講座

二、歌と踊の練習会

この練習会は十一月十日頃の文化祭『婦人の夕』に発表するためなので一週二回小学校音樂室で開く予定です。

歌も踊りもその道に精進の方々から見たら自分達のそれは御批評の余地もありましようし、けんらんたる藝術には程遠いことも充分承知していますが、要は大衆とともに大衆の魂にとけ込んでゆく藝術を啓蒙する一手段としての動きです。

この町の盆踊にもなじめず、流行歌を唱つても樂しめない人達によりよいものを少しでも残したい主旨で『婦人の夕』を催す次第ですが、皆様の御理解を得て成果あらせたいと願つています。

▽農家△ 牛の流感に御注意

牛の流行性感冒が全縣下に邊延し、西蒲原でも九月二十八現在まで乳糜撒布等による畜舎に七十三頭という大多數に達しました。

牛の手入は如何でしようか？

悪質な飼料、牛舎の手入（床の入替、DDT消毒、吸血昆虫類の撲滅）等を計り恐るべき流感を防止致しましよう。

二百十日も平穏に過ぎ鎌持つ手も輕く、刈取りも順調に運び、早場米を積んだ車を見受けられる。第二、第三期完納に精進いたしましよう。

九月十日夜八時より修農会、みのり会との合同で縣農林部改良課の田代光子女史を圍んで生活改善の問題をとりあげ、和やかな雰圍気の中に学び取らんとする意慾は自然に熱を帶び夜の更けゆくを忘れ有意義な一日を過した。

又みのり会々長より去る九月三日普及事務所において行われた婦人会協議会議案が出され次の五項目が取り上げられた。

一、食生活の改善
二、時間の嚴守
（種々の分野にわかれて統計をとる）
三、窓を開けること
（平面積の四分の一以上を切る）
四、カマドの改善
（煙突をつける）
五、言葉の改善
等の五項目をとり上げ即時これが実行に移すことを申し合せた。

これが申合せ事項の實施に伴い各所に印刷物を配布して啓蒙することにしたから御協力をお願いいたします。

◇スポーツ

籠球

第五回卷町職域対抗籠球大会は九月三十日午前九時より卷中学校において各職場代表七チームを集めて華々しく開催された。特に卷町長寄贈の町長杯をかけての本大会は初戦より熱烈を極め、稀に見る熱戦は技と和の役場Aチームに凱歌が挙がつた。戰績は

予選

高校職員 26～25 地方事務所
役場A 32～21 税務署
農協 16～14 役場B
準決勝
役場A 61～16 郵便局
高校職員 35～12 農協
決勝
役場A 44～25 高校職員

排球

クラブ練習開始す

秋も深まりいよいよスポーツシーズンが訪れて来ました。左記により練習を開始致しますから老若男女を問わず遠慮なくお出下さい。

日時 十月二日より
（偶數日）午後七時半より九時迄
場所 中学屋内コート

私たちの町民運動會

卷町の皆さんの祭典として續けられて參りました町民運動会も今年で第十三回となり、昨年よりも更に樂しくしかも盛大に行うため公民館体育部の方々並びに各区の代表の皆さんと種々相談して日、時間場所、プログラム等を決定致しましたのでお知らせ致します。

十一月三日午前九時より（雨天の場合は四日五日）

卷中学校校庭

プログラム

午前の部
1 男子 二〇〇米予選
2 女子 一〇〇米予選
3 男子 障害物競走
4 女子 風船取り競走
5 小学生 遊戯
6 学年別繼走予選
7 年令別繼走予選
8 職域対抗繼走予選
中食（十二時～一時）
9 男子 二〇〇米決勝
10 女子 一〇〇米決勝
11 男子だるま魚釣競走
12 女子 玉投入
13 男子 たばこ競走
14 男子 一、五〇〇米
15 中学生 遊戯
16 男女 家族二人三脚
17 学年別繼走決勝
18 年令別繼走決勝
19 職域対抗繼走 勝
20 来賓レース

〔教育欄〕

子供に讀書の樂しさを

卷小小林佐吉

子供達の毎日の生活には案外讀書と結びついた事実が多いものである。例えば教科書の數よりもマンガ本の多く入つているカバンをかついで通う子、本屋の店頭ですらりと並んだ書架の本を立ち讀みする子月刊雜誌を寂しい懷にかじりついてまで買入れ、ロクに讀まずに人に貸せてやる子、ご飯も忘れて少女小説に讀み耽ける女の子しと思うとおかあさんに小言の百ももらつてもまだ本など（教科書も）殆どみることもない野球少年、などちよつと思いを運してみてもその事実の數々があげられる。だが、こういう姿は一体正しく育まれた姿なのだろうか。

× ×

子供は滿二才ともなれば恐れ、怒り、不滿、興奮、愛情、喜び、快感などの感情の表われが見られるようになつてくる。子供の讀書生活というものはここから始る。この子供の感情は五才にもなれば、およそ大人の感情に近い狀態にまで發達する。つまり感情生活の土台ができ上るのである。

この感情生活を健康に育て上げるためにもこの頃からの子供の讀書生活には、深い心遣いがなされなければならない。

一日の生活が遊びで終る二、三才の頃では色彩が明瞭で單純な動物、器物、花などの繪も喜ぶ。それに續いて乘物の繪を喜ぶ。その頃になるとそろそろ口がきける樣になつて母への質問攻めに出る。母は仕事の最中に『おかあさん、これなあに』『この繪本讀んで』とせがまれ、いきなりはねつけてしもう。だがこの時が讀書指導の一番いい時なのである。

子供は母や兄の說明を聞いて、知識を廣め、ことば（語い）を覺え、意志、感情を豊かにしていく。四、五才頃からは幼兒の生活を描いた（ままごと、おもちやあそびなど）單語繪本を喜ぶようになり、それが更には連續した繪本即ち『繪物語』『お伽噺』『昔話』『動物物語』へと發展していくのである。マンガ本が喜ばれ出すのはこの頃からである。この狀態になると字が讀みたいという興味が發生し、学齢期を迎える。この段階に立ち至れば子供はもう本を見る（讀む）樂しさを体得してしもう。それがやがては短篇童話～傳記英雄物～小說～自然科學、文化科學への發展の軸となる。

× ×

これらのことから本を讀みたがらない子供、マンガばかりにとびつく子供、長續きしない子供達には是非最初から高度のものを望ます、興味あるもの、喜んで（面白がつて）讀むものを与え、一歩一歩進ませたい。（マンガや冒險ものは內容に注意）讀書の樂しさを知つた子供達は『家の子供は國語の本でも滿足に讀めない』といわれる苦痛を身にしなくとも済むだろうし、讀字力も向上してくるだろう。

名札のことども

卷中学校訓育部

卷中學校では生徒に名札をつけることを他の諸校に比して率先して實行した。それを今日に至るも多少の反對に合い、又生徒の実行怠慢に合いながらも勵行してきました。

我が卷中学においては嚴重に名札をつけさせることにより、生徒の自覺と向上、訓練と躾の大部分を期することが出來るとすら考えている程なのであります。名札をつけることをとかく忘れる。この忘れるのをつとめて忘れないようにすることがよいのである。生徒はとかく忘れるということに対してそれ程罪惡視していないようである。踏切を忘れることによりどうなるか。ちよつとした忘れものから大事に至るものであります。大は自分をすら忘れるという樣な不覺な事になりかねないのであります。忘れるということは無責任投遣等幾多の惡德の源です。反對に忘れないということは責任、規律等幾多のよき德の源です。学校としては物忘れをしないきまりのよい生徒にしたいのです。

次には生徒の自覺をうながす有力な手がかりとなるものであります。自分の名前に誇と自覺を持たせたい。昔の人は『先づ名を正しくする』といつているほど名前つまり名譽を重んじ、このためにはあらゆるものを犧牲にしても悔いなかつた人が多くあつた。名譽の感情を三文の値だ位にしか見ない現実すぎる功利的なことでは、あまりにもなさけない。自分の誇り、価値を考えて行動する生徒にするために名札はためになるものです。

讀書隨想

老舍「四世回堂」

あの頃のわたくしたちの言動が、いやただそこにいるという事実がこんなにまでこの人たちに、苦しみと悲しみを與えていたのか……あたりまえの分りきつたことが、この本を讀むことによつて、更にまた痛切に感ぜられ、ちようどサンフランシスコで日本の運命が決められている最中でもあり、町警察の問題がなお心にくすぶつていたためもあつたのか、わたくしは全くうちのめされたような気になりたまたま酒席に連つても、少しも酒はうまくなく、またちつとも心からは醉えなかつた。

そして上海戰の後、師団は遠く南京への追擊にはなれ、わたくしたちの病院ばかり、コレラ患者の後送がつかないまま、上海郊外に殘つていたところ、どこからあらわれてきたのか、ひよつこり歸つて來た老婦と幼女のあのかたくなに引きしめた口許や、奉天城內でデパートとまちがえてどんどん入つて行つた異服やの女店員のわたくしらにむけた、あのさすような瞳が思い出されるのであつた。

それにまして、わたくしの心をかくも暗く重くしたのは、この瑞宜を中心とした一家とその周辺の人たちの運命が、そのまま、わたくしたちの運命にならないと誰か保証し得ないものかということだつた。そうなつた時、わたくしもやはりこの決断力がなく実行力がなく、そしてそれを自覺していることによつて更に自分自身を苦しめている主人公瑞宜と同じい晝と夜を造るのではあるまいか。闇黑愛愁悲哀……そして泣く辭も人にきかれてはならないのだ。

後半作者はこの善良な北京の市民にどんな救いを與えているかわからないが、しかし、よし作者によつて與えられなくとも事実昭和二十年八月、この人たちには心からの月光が與えられたのだ。しかしもしわたくしたちがこの境遇におちたとしたら、永久にわたくしたちは太陽からしめ出されるのではあるまいか。

……かくてわたくしの神經衰弱はますます亢じてくるのであつた。

（濟藤順作）

新刊図書購入

アナタハン
石川五右エ門
キューリ夫人傳
眞知子
思春期
古文覺え書
日本小說大系
醫師パッーン
シエクスピア名作
よい子のエチケット
中國
八路軍
浮雲
新平家物語
わが一高時代の犯罪
現代戲曲選集
わが谷は緑なりき
加賀騷動

おわび

先号（二十四号）ろばた欄　時が解決するの文中、正月勘定とあるを丁月勘定と、四月勘定とあるを四期勘定の誤りにつき訂正させていただきます。